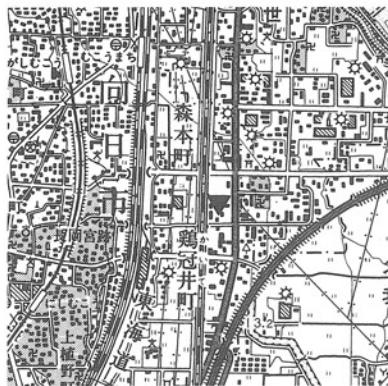


京都・長岡京跡

ながおかきょう



(京都西南部)

- 1 所在地 京都府向日市森本町高田
- 2 調査期間 左京第五〇一次調査 一〇〇四年（平16）一〇月
～一月
- 3 発掘機関 財団法人埋蔵文化財センター
- 4 調査担当者 山口 均
- 5 遺跡の種類 都城跡
- 6 遺跡の年代 繩文時代～中世（長岡京期〈七八四年～七九四年〉
が主体）
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

調査地は、長岡京跡左京

一条三坊四町・一条大路に

あたり、標高一四・六～一
四・八mの氾濫原に位置す
る。

調査の結果、繩文時代か

ら中世にいたる遺構を検出
した。長岡京期のものには、
一条大路北側溝、柵一条、

掘立柱建物二棟がある。

一条大路北側溝SD五〇一〇三は、幅約一・三m深さ約〇・二m
で、遺物は土器類が少ないので対し、削屑や植物残滓が多く出土し
た。調査地西側の左京第四〇次調査成果にみる厨房施設との関連
が考えられる。また、出土した遺物のなかには漆の付着した須恵器
杯や樺皮（桜の樹皮）などが含まれており、工房的様相が窺われる。
木簡は、一条大路北側溝SD五〇一〇三埋土の洗浄により、一八
点（うち削屑一七点）が採集されたが、いずれも釈読できない。こゝ
では文字数のわかる二点を紹介する。

8 木簡の釈文・内容

(1)

□

(2)

□□□

(49)×(8)×2 081

091

9 関係文献

向日市教育委員会・財団法人埋蔵文化財センター『長岡京跡ほ
か』（向日市埋蔵文化財調査報告書六八、一〇〇五年）

（山口 均、釈文 佐藤直子）